

殺菌剤
イミノクタジン酢酸塩・チオファネートメチル水和剤

ベフトップジン®フロアブル

農林水産省登録 第21860号
(日本曹達(株)登録)

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：劇物

危険物：非該当

有効年限：4年

包装：500ml×20

有効成分：イミノクタジン酢酸塩（化管法第1種）・・・15.7%
チオファネートメチル（化管法第1種）・・・26.2%

殺菌剤分類 M7, 1

ベフトップジン®は日本曹達(株)の登録商標です。

特長

○幅広い殺菌スペクトラムにより、かんきつの貯蔵病害（緑かび病・青かび病・軸腐病）に優れた効果を発揮します。

○小麦の赤かび病の主要病原菌であるフザリウムグラミニアラムやミクロドキウムニバーレ等に安定した効果を示します。

○浸透性の高いトップジンMに加えて、保護殺菌効果が強いペフランが含まれているため、予防・治療効果に優れ、また効果が持続します。

○系統の異なる2つの有効成分を含むため、耐性菌マネジメントに有効です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の 総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の 総使用回数
小麦	赤かび病	8倍	0.8ℓ	収穫前日まで	3回以内（出穂期以降は1回以内）	無人航空機による散布	4回以内 （種子への処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内）	4回以内 （種子への処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内）
		250倍	25ℓ			散布		
	うどんこ病 葉枯病 赤さび病	800～ 1000倍	60～ 180ℓ	根雪前				
	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病	750～ 1000倍						
麦類 （小麦を除く）	赤かび病	1000倍	60～ 180ℓ	収穫14日前まで	2回以内（出穂期以降は1回以内）	散布	3回以内 （種子への処理は1回以内、散布は2回以内、出穂期以降は1回以内）	3回以内 （種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内）
みかん	貯蔵病害 （青かび病） （緑かび病） （軸腐病） （こうじかび病） （黒腐病） （炭疽病） （白かび病） （すす斑病） （黒斑病）	1500倍	200～ 700ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	8回以内 （塗布は3回以内、散布、空中散布及び無人航空機散布は合計5回以内）
	25倍	8ℓ	無人航空機による散布					
かんきつ （みかんを除く）	貯蔵病害 （青かび病） （緑かび病） （軸腐病） （こうじかび病） （黒腐病） （炭疽病） （白かび病） （すす斑病） （黒斑病）	25倍	8ℓ	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内	8回以内 （塗布は3回以内、散布及び無人航空機散布は合計5回以内）
	1500倍	200～ 700ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	8回以内 （塗布は3回以内、散布及び無人航空機散布は合計5回以内）	

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用に際しては、容器をよく振ってください。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- ボルドー液とは沈殿を生じるので混用しないでください。塩化銅等の無機銅剤との混用はさけてください。
- 日本なし、もも、うめ等の果樹、稲、きゅうり、あぶらな科作物、豆類には、葉に薬害を生じることがあるので、かからないように注意して散布してください。
- かんきつの施設栽培で果実の着色終了前に使用する場合、果実に着色むらを生じるおそれがあるので、降雨時等の極端な多湿条件下での散布はさけてください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って散布してください。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 本剤を希釈倍数250倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて 均一に散布してください。
- 本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種籾への処理及び塗布処理は除きます。
- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないように注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合には、飛散しないように特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。